



先生、  
以前貸していた資料について質問  
したいことが...

先生、

失礼します

カチャッ

コ  
コ



...寝ている...



...寝るときは  
子どもみたいだ...

疲れていたのかな。

めずらしいな。  
いつも仮眠するときは  
鍵をかけているのに...









する、するけど  
落ち着いてくれ

あ、いや……

僕もう我まッ……  
えっ、冗談……？

は、はい……

今の僕が悪かった……



全く……何の用かと  
思ったが……

本当にこんなこと  
のために来たのか？

君のことはかなり  
信頼してたが  
少し失望したよ……

あ……いえ、先生から  
お借りした資料について  
聞きたいことがありました。

まあでもそれは  
後でいいので

とりあえず先生を  
抱かせてください。

……素直なところは  
嫌いじゃないよ



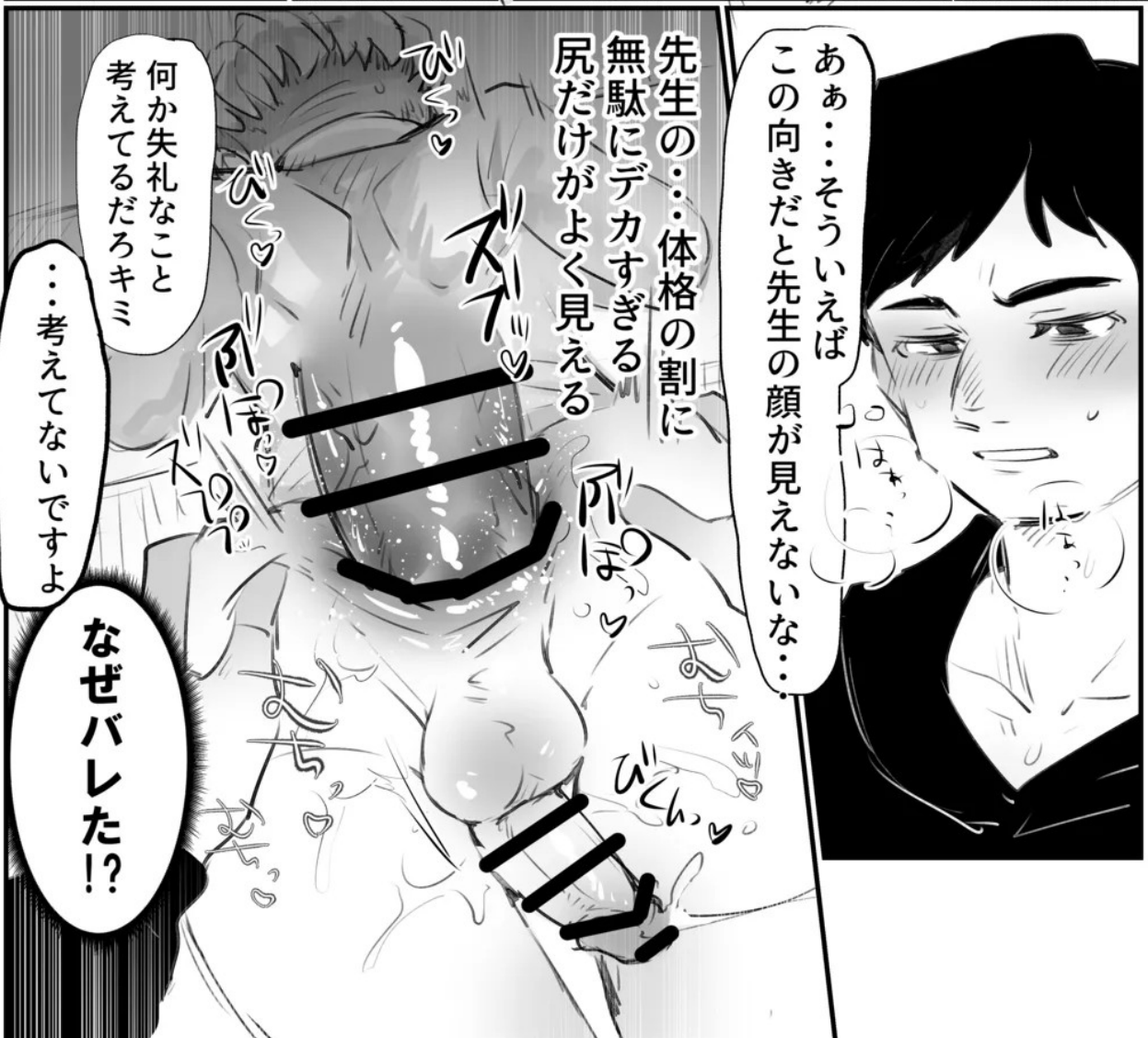




ッ先生、  
大丈夫ですか…？

本来性交するための  
器官ではないからね。  
全く大丈夫ではないよ。

その割に余裕そうだな…



ああ…そういうえば  
この向きだと先生の顔が見えないな…

先生の…体格の割に  
無駄にデカすぎる  
尻だけがよく見える

何か失礼なこと  
考えてるだろキミ

…考えてないですよ

なぜバレた!?

先生、やっぱり  
こっち向いてくれますか

ん？ああ、  
構わないよ

これで…

先生の情けない  
表情がよく見えます。

なるほど？

うん、確かに  
この向きの方が  
良いかもしれないね。

アルベルトくんが  
必死に腰を振って、

快樂だけの無意味な  
セックスに

夢中になっている  
滑稽な様子が丸見えだ。

…まるで他人事ですね。

まあ…悪いけど  
僕は行為自体に然程  
興味が無いからね



じゃあなんでっ…

アルベルト君を  
甘やかしたいだけだよ

ダメだったかい？

……!!

あ…♡  
♡♡♡  
♡♡♡  
♡♡♡



ダメに決まってる  
でしょう!!

そんなことが  
許されたら僕はッ…

毎日ここで  
貴方を犯すこと  
になりますよ…!!

はは、随分  
旺盛だなあ…

そんなに心配しなくても  
自宅で好きなだけ  
可愛がってあげるのに…♡



先生ッ…

先生っ

んッ…ちよっと、  
アルベルトくんっ…

落ち着いて…

ラファウ

先生ッ…!!

